
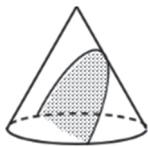


お客様各位

この度は、アガルートアカデミーの講座をご受講いただきまして誠にありがとうございます。  
以下のとおり、テキストに誤りがございますので、訂正の上ご利用いただきますようお願い申し上げます。  
ご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げます。

2027合格目標 公務員 数的処理対策講座 判断推理 訂正情報

該当箇所を、次のように訂正していただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正	更新日
135	問51 その他① 表Ⅲ 行A列E	(空欄) 5	× 5	25/7/23
135	問51 その他① 表Ⅲ 行F列A	(空欄) 2	× 2	25/7/23
135	問51 その他① 表V 行B列D	○ 4	× 4	25/7/23
135	問51 その他① 表V 行D列B	× 4	○ 4	25/7/23
276	問111 折り紙⑦ 4行目	よって、1回目は「BとD」「FとH」の間のスペースが……	よって、1回目は「Bと <b>F</b> 」「 <b>D</b> とH」の間のスペースが……	25/7/23
286	問116 位相⑤ 8行目以降	……他の2都市とだけ結ばれているのは、③および④である。すなわち、③④がC市、D市のいずれかとなる。 図Ⅱは、③をC市、④をD市としたものである。 図Ⅲは、図Ⅱの逆に、③をD市、④をC市としたものである。	……他の2都市とだけ結ばれているのは、②および④である。すなわち、②④がC市、D市のいずれかとなる。 図Ⅱは、②をC市、④をD市としたものである。 図Ⅲは、図Ⅱの逆に、②をD市、④をC市としたものである。	25/7/23
298	②円錐の切断面 【放物線】			25/7/23
302	1行目 表題	【有名な立体の切断面】	【有名な立体の <b>展開図</b> 】	25/7/23
326	問131 切断② 解説文 下から4行目	・四角形EGCD	・四角形EG <b>DC</b>	25/7/23

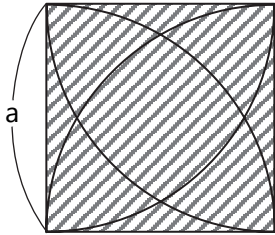
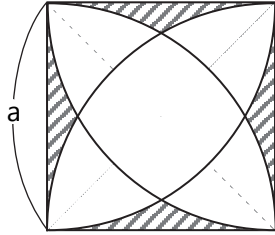
330	問133 切断④ 解説文 9行目	……A B C D E Fは同一平面上なので、これらを結んだ六角形A B C D E Fが切断面となる。	……A B C D E Fは同一平面上なので、これらを結んだ六角形 <b>A B E C F D</b> が切断面となる。	25/7/23
344	問140 正多面体① 5行目	・正八面体は面が8個→できる多面体の頂点は8個→できる多面体は正十二面体	・正八面体は面が8個→できる多面体の頂点は8個→できる多面体は <b>正六面体</b>	25/7/23
388	問161 投影図⑧ 解説文全体	※ 解説文につきまして、本訂正表添付のものに差替えいただきますようお願いいたします。		25/7/23

該当箇所を、次のように訂正していただきますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正	更新日
11	問5 数の性質⑤ 問題文 1行目	$13^{19}$ と $13^{19}$ の和の一の位の数 をA, ……	$13^{19}$ と <b><math>19^{13}</math></b> の和の一の位の数 をA, ……	25/5/14
22	問9 因数分解① <解説> 3行目以降 「1. $a^2$ は8で割り 切れない条件につ いて」	① $p = 1$ のとき $a = 2 \cdot 3^q \cdot m$ なので $a^2 = 2^2 \cdot 3^q$ $\cdot m = 4 \cdot 3^q \cdot m$ (中略) ② $p = 2$ のとき $a = 2^2 \cdot 3^q \cdot m$ なので $a^2 = 2^4 \cdot 3^q \cdot$ $m = 16 \cdot 3^q \cdot m$ (中略) ③ $p = 3$ のとき $a = 2^3 \cdot 3^q \cdot m$ なので $a^2 = 2^6 \cdot 3^q \cdot$ $m = 64 \cdot 3^q \cdot m$	① $p = 1$ のとき $a = 2 \cdot 3^q \cdot m$ なので $a^2 = 2^2 \cdot 3^{2q}$ $\cdot m^2 = 4 \cdot 3^{2q} \cdot m^2$ (中略) ② $p = 2$ のとき $a = 2^2 \cdot 3^q \cdot m$ なので $a^2 = 2^4 \cdot 3^{2q}$ $\cdot m^2 = 16 \cdot 3^{2q} \cdot m^2$ (中略) ③ $p = 3$ のとき $a = 2^3 \cdot 3^q \cdot m$ なので $a^2 = 2^6 \cdot 3^{2q}$ $\cdot m^2 = 64 \cdot 3^{2q} \cdot m^2$	25/7/23
32	【倍数の理解】 「例) 4, 6, 10, 15の最小公倍数」表	2 3  2 1 1 1	2 3 <b>5</b>  2 1 1 1	25/7/23
107	等比数列 【等比数列に關する 公式】 (2) 和について	$\left( \text{初項から第 } n \text{ 項までの和} \right) =$ $\left( \text{初項} \right) \times \frac{\left( \text{公比} \right)^{n-1} - 1}{\left( \text{公比} \right) - 1}$	$\left( \text{初項から第 } n \text{ 項までの和} \right) =$ $\left( \text{初項} \right) \times \frac{\left( \text{公比} \right)^n - 1}{\left( \text{公比} \right) - 1}$	25/7/23

130	問52 方程式② 解説文 2行目以降	<p>当該期間のうち、快晴でない <math>(x-5)</math> 日の1日当たりの来客数が167.5人であることから、快晴であった5日間の日当たりの来客数は <math>180x - 167.5(x-5) = 12.5x + 837.5</math> (人)</p> <p>一方、当該期間のうち、雨でない <math>(x-5)</math> 日の1日当たりの来客数が190.0人であることから、雨であった5日間の1日当たりの来客数は <math>180x - 190(x-5) = -10x + 950</math> (人)</p> <p>条件より、</p> $12.5x + 837.5 = 2.8(-10x + 950)$ $12.5x + 28x = 2660 - 837.5$ $40.5x = 1822.5$ $x = 45$ <p>より正解は肢3。</p>	<p>当該期間のうち、快晴でない <math>(x-5)</math> 日の1日当たりの来客数が167.5人であることから、快晴であった5日間の来客数は <math>180x - 167.5(x-5) = 12.5x + 837.5</math> (人)。</p> <p>一方、当該期間のうち、雨でない <math>(x-5)</math> 日の1日当たりの来客数が190.0人であることから、雨であった5日間の来客数は <math>180x - 190(x-5) = -10x + 950</math> (人)。</p> <p>条件「快晴であった5日間の1日当たりの来客数が、雨であった5日間の1日当たりの来客数の2.8倍であった」ことから、</p> $(12.5x + 837.5) \div 5 = 2.8 \times (-10x + 950) \div 5$ $12.5x + 837.5 = 2.8(-10x + 950)$ $12.5x + 837.5 = -28x + 2660$ $12.5x + 28x = 2660 - 837.5$ $40.5x = 1822.5$ $x = 45$ <p>より正解は肢3。</p>	26/3/4
140	問57 方程式⑦ 下から3行目	⑤-①より、……	⑤-③より、……	25/7/23
144	問58 整数解① 解説文 5行目	金額： $100x + 10y + z = 1500$ より……	金額： $100x + 10y + 5z = 1500$ より……	25/3/19
174	Guide 最終行	$x > 3$ (両辺を-3で割った)	$x > -3$ (両辺を-3で割った)	24/11/6
180	問73 不等式③ 解説文 6行目以降	<p>条件イから</p> $B+20 \geq C \geq (AからCまでの合計) \times 0.5-7$ <p>AからCまでの合計は105人なので <math>B+20 \geq C \geq 105 \times 1/2-7</math>、よって整理すると……</p>	<p>条件イから</p> $B+20 \leq C \leq (AからCまでの合計) \times 0.5-7$ <p>AからCまでの合計は105人なので <math>B+20 \leq C \leq 105 \times 1/2-7</math>、よって整理すると……</p>	25/5/14
188	問77 不等式⑦ 解説文 4行目	……すなわち $y = -3/2x + k/8$ … ③と表せて、……	……すなわち $y = -7/4x + k/8$ … ③と表せて、……	25/5/14
202	問83 比・割合⑥ 解説文 8行目	$x-z+116=1.06y$	$y-z+116=1.06y$	25/7/23
238	問95 基本② 解説文 10行目 (25/7/23訂正表)	$\frac{x}{v + \frac{3v}{4}} + 10 = \frac{x}{v + \frac{4v}{5}}$	$\frac{x}{v + \frac{4v}{5}} + 10 = \frac{x}{v + \frac{3v}{4}}$	25/8/27

	に誤りがありました)	$\frac{x}{v + \frac{4v}{5}} - 10 = \frac{x}{v + \frac{3v}{4}}$		
240	問96 基本③ 3行目・7行目	……4800km進むには $\frac{4800}{3} = 16$ 時間かかる。 (中略) 4800km進むには $\frac{4800}{2} = 24$ 時間かかる。	……4800km 進むには $\frac{4800}{300} = 16$ 時間かかる。 (中略) ……4800km 進むには $\frac{4800}{200} = 24$ 時間かかる。	25/7/23
246	問99 基本⑥ 下から6行目以降	正解は肢2。 Cの速度をvとおく。……正解は肢2。	正解は肢2。 <del>Cの速度をvとおく。……正解は肢2。</del>	25/7/23
250	問101 基本⑧ 下から9行目～4行目	Aが出会うまでに歩くt分間の移動距離を、Bは出会ってからの4分で歩くので $a \times t = b \times 4$ つまり $at = 4b \dots ①$ Bが出会うまでに歩くt分間の移動距離を、Aは出会ってからの9分で歩くので $b \times t = a \times 9$ つまり $bt = 9a \dots ②$ 求めるのはtなので、aとbを消したい。①より $b = \frac{at}{4}$ を②に代入し、 $\frac{at}{4} \times t = 9a \rightarrow at^2 = 36a$ $\rightarrow t^2 = 36$ $\rightarrow t = 6$	Aが出会うまでに歩くt分間の移動距離を、Bは出会ってからの9分で歩くので $a \times t = b \times 9$ つまり $at = 9b \dots ①$ Bが出会うまでに歩くt分間の移動距離を、Aは出会ってからの4分で歩くので $b \times t = a \times 4$ つまり $bt = 4a \dots ②$ 求めるのはtなので、aとbを消したい。①より $b = \frac{at}{9}$ を②に代入し、 $\frac{at}{9} \times t = 4a \rightarrow at^2 = 36a$ $\rightarrow t^2 = 36$ $\rightarrow t = 6$	25/12/17
254	問103 流水算・旅人算② 6行目	同じ距離を行くのに、上りと下りの時間の比が1.5:1、整数に直すと2:3である。……	同じ距離を行くのに、上りと下りの時間の比が1.5:1、整数に直すと3:2である。……	25/7/23
278	問113 仕事算・ニュートン算④ 解説文 下から4行目	$2x^2 + 13x = x^2 + 13x + 26$	$2x^2 + 13x = x^2 + 13x + 36$	25/7/23
290	問118 その他の文章題② 解説文 14行目以降	(1,1000), (2,500), (4,250), (5,20), (8,125), (10,100), (20,50)の8通りあるが、このうち片方が奇数で片方が偶数なのは(1,1000), (5,200), (25,40), (125,8)である。	(1,1000), (2,500), (4,250), (5,200), (8,125), (10,100), (20,50), (25,40)の8通りあるが、このうち片方が奇数で片方が偶数なのは(1,1000), (5,200), (8,125), (25,40)である。	25/7/23

296	問121 その他の文章題⑤ 解説文 下から4行目	$\frac{2}{11} \times 150 = \frac{3000}{11} = 27 + \frac{3}{11}$ つまり……	$\frac{2}{11} \times 150 = \frac{300}{11} = 27 + \frac{3}{11}$ つまり……	25/7/23
308	問125 場合の数の基本② 解説文 4行目	……一の位は十の位に使った以外の数字の9通り。	……一の位は十の位に使った以外の数字の <b>8通り</b> 。	25/3/19
338	問140 組合せ⑤ <解説>下から4行目	よって、求める場合の数は、「9本の横線から2本選び、4本のナナメ線から2本選ぶ」場合の数となり、……	よって、求める場合の数は、「9本の横線から2本選び、 <b>5本</b> のナナメ線から2本選ぶ」場合の数となり、……	25/7/23
404	問169 長さ・角度③ <解説>図下・最終行	$\angle FBC$ を求める (中略) ……よって $\angle FBC = 25^\circ$	$\angle FCB$ を求める (中略) ……よって $\angle FCB = 25^\circ$	25/7/23
404	問169 長さ・角度③ <解説>下から7行目・4行目	$\angle FCB$ を求める (中略) …… $= 35^\circ$ より $\angle FCB = 35^\circ$	$\angle FBC$ を求める (中略) …… $= 35^\circ$ より $\angle FBC = 35^\circ$	25/7/23
404	問169 長さ・角度③ <解説>下から2行目	$\angle BFC = 180^\circ - (\angle FBC + \angle FCB) = 180^\circ - (35^\circ + 25^\circ) = 120^\circ$	$\angle BFC = 180^\circ - (\angle FCB + \angle FBC) = 180^\circ - (25^\circ + 35^\circ) = 120^\circ$	25/8/27
416	問175 長さ・角度⑨ 解説文 下から2行目	よって $OT = \frac{1}{2}OA = \frac{5}{2}OA$ が常に成り立つ。……	よって $OT = \frac{1}{2}OA = \frac{5}{2}$ が常に成り立つ。……	25/7/23
433	問184 面積⑧ 問題文3行目 図 ※右のとおり図の差替えをお願いします			24/12/18
434	問184 面積⑧ 解説文 下から2行目以降	求める面積は $4 \cdot \left( a^2 - \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot a^2 - \pi a^2 \cdot \frac{\pi}{12} \cdot 2 \right) = \left( 4 - \sqrt{3} - \frac{2\pi}{3} \right) a^2$	求める面積は $4 \cdot \left( a^2 - \frac{\sqrt{3}}{4} \cdot a^2 - \pi a^2 \cdot \frac{1}{12} \cdot 2 \right) = \left( 4 - \sqrt{3} - \frac{2\pi}{3} \right) a^2$	24/4/10
436	問185 面積⑨ 解説文 下から2行目	$S = \pi \cdot 2^2 \cdot \frac{\pi}{12} = \frac{\pi}{3}$	$S = \pi \cdot 2^2 \cdot \frac{1}{12} = \frac{\pi}{3}$	24/12/18
439	問187 面積⑩ 各選択肢の単位	m <sup>3</sup> (立法メートル)	m <sup>2</sup> (平方メートル) ※各選択肢の単位のうち、「m <sup>3</sup> 」となっている箇所を「m <sup>2</sup> 」に変更してください。	25/7/23

2027合格目標 公務員 数的処理対策講座 資料解釈 訂正情報

該当箇所を、次のように訂正していただきますようお願い申し上げます。

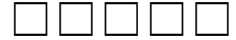
頁	訂正箇所	誤	正	更新日
2	基本用語 「1.増加率・減少率」 下から6行目	$2013年 = 2009年 \times (1 + 0.035) \times (1 + 0.011) \times (1 - 0.025) \times (1 + 0.013) = 1.033$	$2013年 = 2009年 \times (1 + 0.035) \times (1 + 0.011) \times (1 - 0.025) \times (1 + 0.013) = \mathbf{2009年} \times 1.033$	25/7/23
34	問12 指数・構成比⑤ 肢5 解説文 1行目	動力他について、構成比は $\frac{0.4}{36.5} \times 100 \cong 1\%$ の増加で……	動力他について、構成比は $\frac{\mathbf{0.4}}{\mathbf{36.1}} \times 100 \cong 1\%$ の増加で……	24/12/18
67	問29 実数・割合④ 肢4 1行目	……すなわち検率は、1996年から2001年まで毎年前年を……	……すなわち <b>検挙率</b> は、1996年から2001年まで毎年前年を……	25/7/23
89	問38 指数・構成比④ 肢5 1行目	休日以外の日には自由にできる時間が「3時間以上5時間未満」である60～69歳層の人数は、……	休日以外の日には自由にできる時間が「3時間以上5時間 <b>未</b> 満」である60～69歳層の人数は、……	25/7/23
92	問39 指数・構成比⑤ 肢3 解説文 1行目	両者の減少額の差（テレビの減少額－雑誌の減少額）は $37408 \times (0.546 - 0.129) - 27825 \times (0.644 - 0.09) \cong 37000 \times 0.42 - 28000 \times 0.05 = 14140$ 億 $> 0$	両者の減少額の差（テレビの減少額－雑誌の減少額）は $37408 \times (0.546 - 0.129) - 27825 \times (0.644 - 0.09) \cong 37000 \times 0.42 - 28000 \times \mathbf{0.55} = \mathbf{140}$ 億 $> 0$	25/7/23
94	問40 指数・構成比⑥ 肢3 解説文 2行目	……増加数は $5200 \times (1.3 - 1.0) \cong 1620$ （全体の増加数の15%） = $13000 \times 0.15 = 2025 > 1620$	……増加数は $5200 \times (1.3 - 1.0) \cong \mathbf{1560}$ （全体の増加数の15%） = $13000 \times 0.15 = \mathbf{1950} > \mathbf{1560}$	25/8/27
114	問49 増加率④ 肢1 解説文 3行目	$0.018 = \mathbf{0.01}$ の増加であるため、	$0.018 = \mathbf{0.001}$ の増加であるため、	25/10/15

以 上

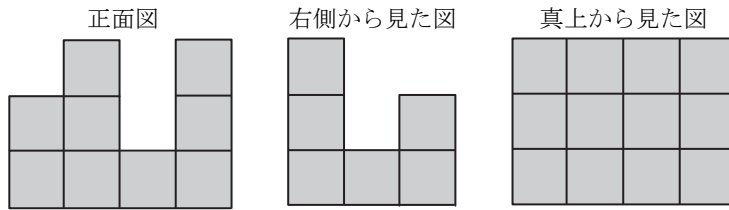


161 投影図⑧

出典
国家専門



同じ大きさの立方体の積み木を使い、積み上げた後、正面、右側、真上の3方向から眺めると、それぞれ次の図の形に見えた。このように見える立体を最も少ない数の積み木で作ったとすると、積み木は何個か。ただし、下の段の積み木の面と上の段の積み木の面が互いにはみ出さないようにぴったりと重ねて積み上げたものとする。



- 1 17 個
- 2 19 個
- 3 21 個
- 4 23 個
- 5 25 個

真上から見て  $3 \times 4$  の 12 箇所が埋まっているので、まず最下段に  $3 \times 4$  を敷き詰め、その時点で 12 個必要である（正面図と右側図の最下段も埋まっている）。

これで真上の図の条件は満たせたので、次に正面図と右側図の条件を満たしていく。

正面図から、「左から 1 列目に +1 個、2 列目に +2 個、3 列目に 0 個、4 列目に +2 個」必要であることがわかる。

右側図から、「手前の行に +2 個、奥の行に +1 個」必要であることがわかる。よってこの時点で  $12+3=15$  個必要である。

正面図と右側図の条件を同時に配置していくと最少個数になる。よって、配置としては、

「左から 1 列目・奥に +1 個」（正面図と右側図の条件 1 個ずつ達成）

「左から 2 列目・手前に +2 個」（正面図と右側図の条件 1 個ずつ達成）

「左から 4 列目・手前に +2 個」（正面図の残り 1 条件達成）

となる。最少個数は  $12+1+2+2=17$  個となり、正解は肢 1。

正解

1